

AnyWire DB A40 シリーズ
商用電流測定ターミナル
A40SW-J32CT1-C60
ユーザーズマニュアル

1.9 版 2025/07/15

目次

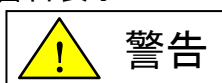
1	はじめに.....	1-1
2	仕様.....	2-1
2.1	製品概要.....	2-1
2.2	一般仕様.....	2-1
2.3	性能仕様.....	2-1
2.4	外形寸法図.....	2-2
3	AnyWire Bus 設定(アドレス・通信速度).....	3-1
4	ハードウェア仕様.....	4-1
4.1	内部ブロック図.....	4-1
4.2	接続回路.....	4-1
4.3	端子台配列.....	4-2
5	測定仕様.....	5-1
6	LED表示機能.....	6-1
7	AnyWire 値への変換.....	7-1
8	伝送仕様.....	8-1
8.1	リモートユニット(本機)→マスタ.....	8-1
8.1.1	アドレス割付(測定モード時).....	8-1
8.1.2	アドレス割付(設定モード時).....	8-2
8.2	マスタ→リモートユニット(本機).....	8-4
8.2.1	アドレス割付(設定モード時).....	8-4
9	設定値の読み書き手順.....	9-1
9.1	設定値の読み出し方法.....	9-1
9.2	設定値の書き込み(変更)方法.....	9-1
10	保証について.....	10-1
11	中国版 RoHS 指令.....	11-1
12	変更履歴.....	12-1

安全上の注意

本書に対する注意

1. 本書は、最終ユーザーまでお届けいただきますようお願いいたします。
2. 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行ってください。
3. 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。
4. 本書の一部または全部を無断で転載、複製することはお断りします。
5. 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。

警告表示について



「警告」とは取扱いを誤った場合に死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



「注意」とは取扱いを誤った場合に障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全にご使用いただくために



- ◆ AnyWireシステムは安全確保を目的とした制御機能を有するものではありません。
- ◆ 次のような場合には、定格、機能に対して余裕を持った使い方やフェールセーフなどの安全対策について特別のご配慮をさせていただくとともに、弊社までご相談くださいますようお願いいたします。
 - (1) 高い安全性が必要とされる用途
 - ・人命や財産に対して大きな影響を与えることが予測される用途
 - ・医療用機器、安全用機器など
 - (2) より高い信頼性が要求されるシステムに使用される場合
 - ・車両制御、燃焼制御機器などへの使用
- ◆ 設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。
- ◆ AnyWireシステムはこのマニュアルに定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。



注意

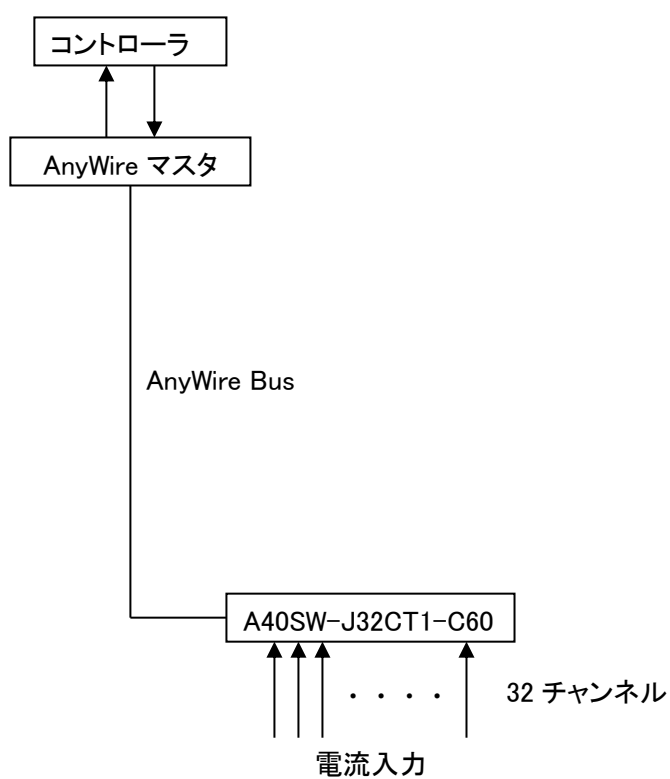
- ◆ AnyWireシステム全体の配線や接続が完了しない状態で24V電源をいれないでください。
- ◆ AnyWireシステム機器には24V安定化直流電源を使用してください。
- ◆ AnyWireシステムは高い耐ノイズ性を持っていますが、伝送ラインや入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。
- ◆ ユニット内部やコネクタ部に金属くずなどが入らないよう、特に配線作業時に注意してください。
- ◆ 誤配線は機器に損傷を与えることがあります。また、コネクタや電線がはずれないように、ケーブル長や配置に注意してください。
- ◆ 端子台に撚り線を接続する場合、ハンダ処理をしないでください。接触不良の原因となることがあります。
- ◆ 電源ラインの配線長が長い場合、電圧降下により遠隔のリモートユニットの電源電圧が不足することがあります。その場合にはローカル電源を接続し規定の電圧を確保してください。
- ◆ 設置場所は下記の場所を避けてください。
 - ・ 直射日光が当たる場所、使用周囲温度が0～+55℃の範囲を超える場所
 - ・ 使用相対湿度が10～90%の範囲を超える場所、温度変化が急激で結露するような場所
 - ・ 腐食性ガスや可燃性ガスのある場所
 - ・ 振動や衝撃が直接伝わるような場所
- ◆ 端子ねじは誤動作などの原因にならないように確実に締め付けてください。
- ◆ 保管は高温・多湿を避けてください。(保存周囲温度-20～+75℃)
- ◆ 安全のための非常停止回路、インターロック回路などはAnyWireシステム以外の外部回路に組み込んでください。

1 はじめに

本機は、AnyWire DB A40 シリーズの商用電流測定用ターミナルです。

測定したデータを AnyWire Bus により伝送しますので、離れたコントローラに安定した状態でアナログデータを取り込むことができます。(最大伝送距離 1km)

最大 60A／1 回路 で 32 回路の入力チャンネルがあります。



2 仕様

2.1 製品概要

型式	A40SW-J32CT1-C60
入力要素	電流 32 回路 クランプCT入力 A.C.60A RMS(120A/200A/300A/500A 切替) 50Hz／60Hz
適応クランプ	ACTF-60A (0～60A) ACTK-60A-L3M (0～60A) ACTK-60A-K3M (0～60A) ACTL-16 (0～120A) ACTL-24 (0～300A) ACTL-36 (0～500A) ACTL-60 (0～1000A) ACTL-100 (0～1000A)

■CT ケーブルの長さについて

CT ケーブルは、総延長で 10m 以内となるようにしてください。
(ケーブル付品の場合は延長可能です)
その際、中継に使用するケーブル径は、0.20～1.25mm² のものを選定してください。

2.2 一般仕様

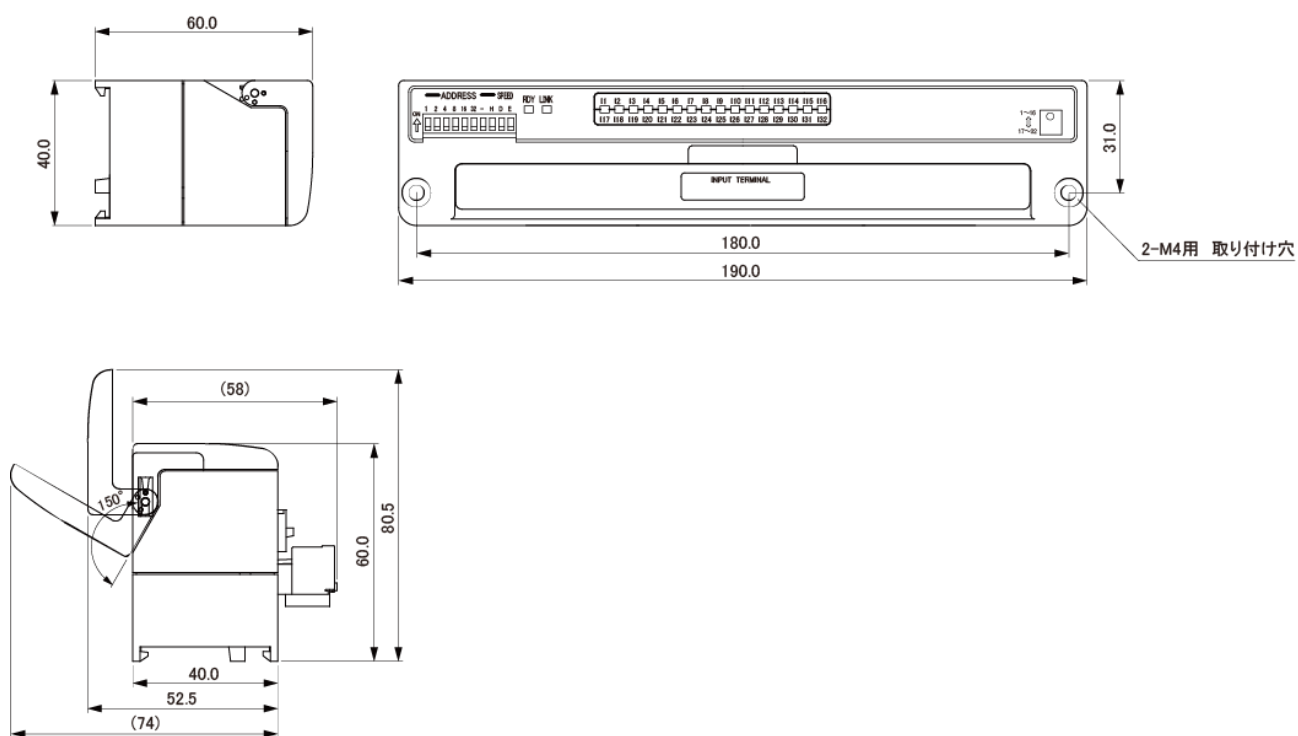
使用周囲温度	0～+55℃
使用/保存 周囲湿度	10～90%RH(結露なきこと)
保存周囲温度	－20℃～+75℃
雰囲気	腐食性ガスや可燃性ガスなきこと
耐振動	JIS C 0040に準拠

2.3 性能仕様

電源仕様	DC24V DC21.6V～27.6V
絶縁仕様	本機電源 24V と内部回路:絶縁 DC500V 以上 本機電源 24V をアナロググランド:絶縁 DC500V 以上
プロトコル	AnyWire DB A40 プロトコル
占有点数	Word-Bus 入力 4word／Word-Bus 出力 4word 占有 (チャンネル数設定が 16ch の場合は、 Word-Bus 入力 2word／Word-Bus 出力 2word 占有)
伝送速度(伝送距離)	7.8kHz (1km)／15.6kHz (500m)／31.3kHz (200m)／62.5kHz (100m)
接続台数	最大 16 台 ファンイン=8

2.4 外形寸法図

単位:mm



3 AnyWire Bus 設定(アドレス・通信速度)

AnyWire Bus のアドレスと、伝送速度を、ディップスイッチにより設定します。

本機に設定するアドレスは、コントローラの入出力メモリマップとの対応を取るためのものです。

アドレス設定スイッチで設定された値は、AnyWire 伝送フレームに対するターミナルの先頭のアドレスを示し、その番号以降ターミナルのワード点数分を占有します。

本機はワード(16 点)単位でのデータ照合、更新を行います。

自ターミナルの点数を含め、最大伝送点数を超えないように設定してください。



- ・アドレス設定: 1,2,4,8,16,32
- ・●: 使用不可 (OFF のままご使用ください)
- ・チャンネル数設定: H
- ・伝送速度設定: D,E

■ アドレス

アドレス	アドレス設定スイッチ					
	1	2	4	8	16	32
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
60	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

■ チャンネル数設定

チャンネル数	チャンネル数 設定スイッチ
	H
32ch	OFF
16ch	ON

■ 伝送速度

伝送速度(伝送距離)	伝送速度設定 スイッチ	
	D	E
7.8kHz(1km)	OFF	OFF
15.6kHz(500m)	OFF	ON
31.3kHz(200m)	ON	OFF
62.5kHz(100m)	ON	ON

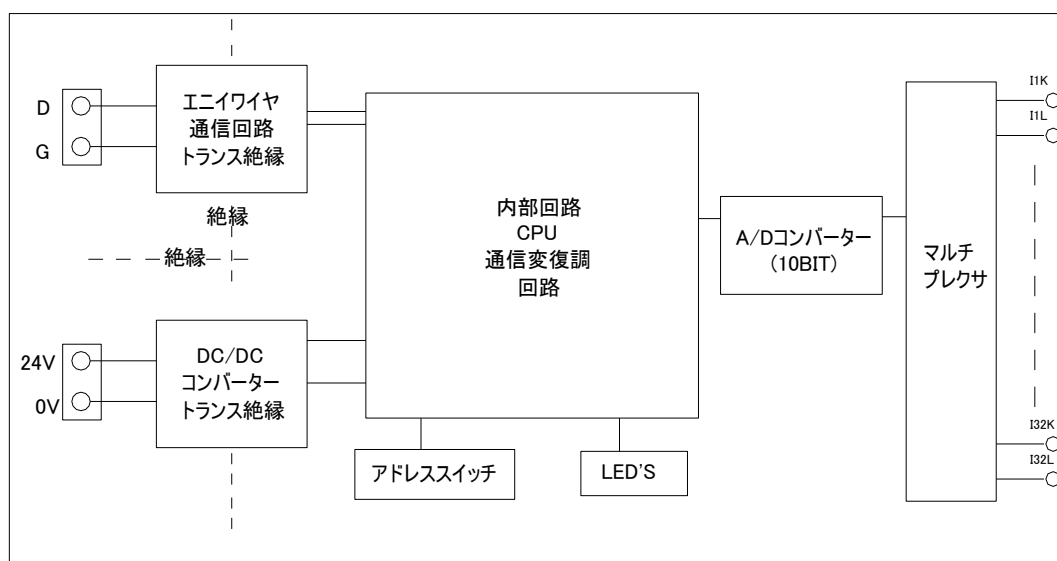


注意

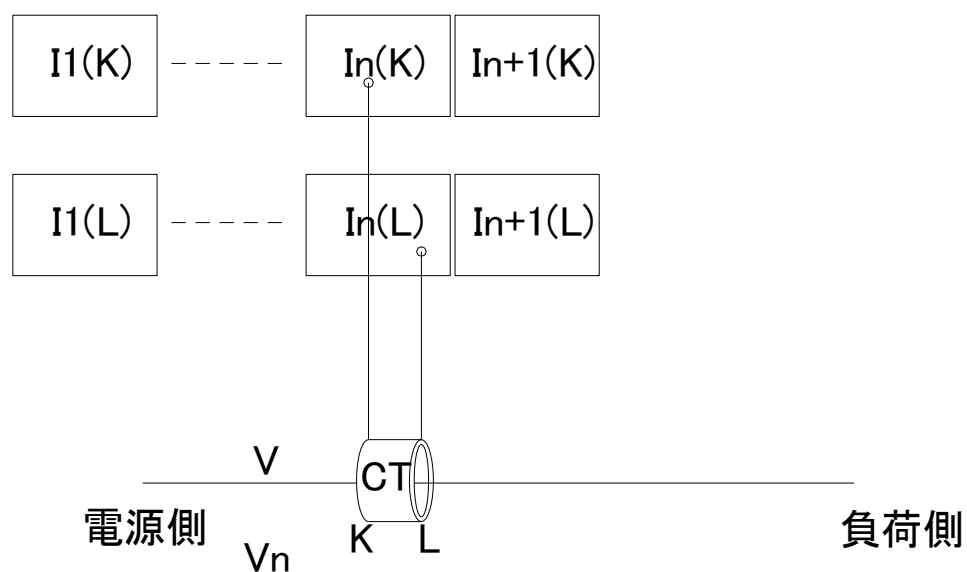
設定の変更は、電源を OFF してから行ってください。
通電中に行うと、思わぬ動作をすることがあり危険です。
マスタの速度設定とリモートユニットの速度設定は必ず合わせてください。
異なると伝送障害の原因となります。

4 ハードウェア仕様

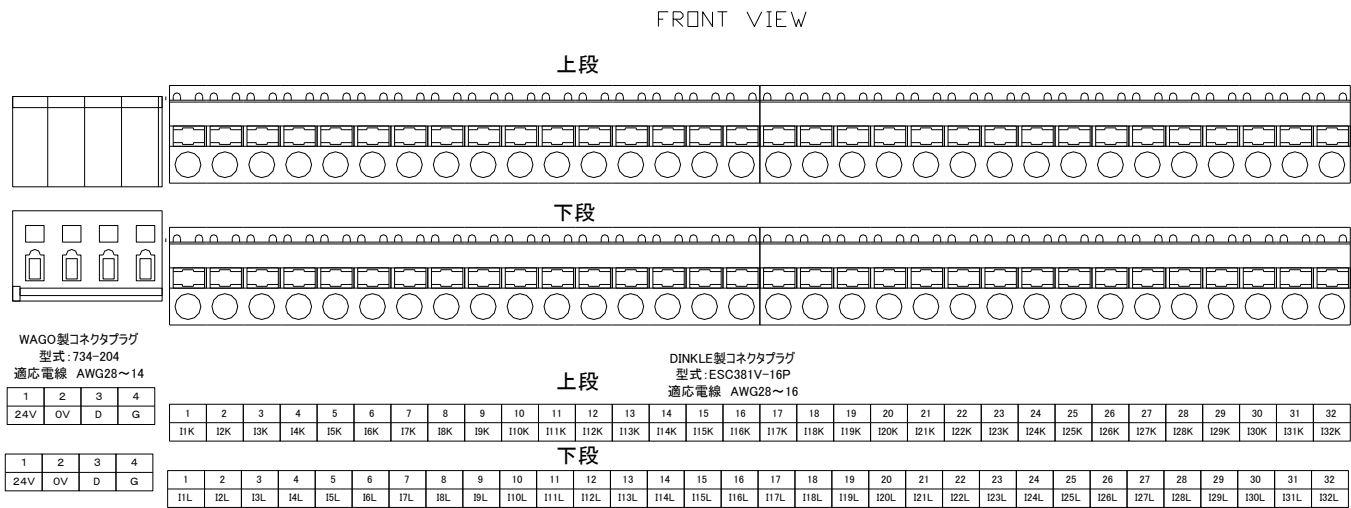
4.1 内部ブロック図



4.2 接続回路



4.3 端子台配列



5 測定仕様

■測定仕様(ハードウェア性能)

サンプリング周波数	: 1920Hz (60Hz) または 1600Hz (50Hz) の切り替え
A/D 変換器	: 10bit
入力レンジ	: 60A (定格 66A) CT の変更とシャント抵抗の外付けにより、 120A / 200A / 300A / 500A に変更可能
分解能	: 0.15A (瞬時値) 120A レンジのとき 0.3A (瞬時値) 200A レンジのとき 0.5A (瞬時値) 300A レンジのとき 0.75A (瞬時値) 500A レンジのとき 1.25A (瞬時値) 1000A 測定 のとき 2.5A (瞬時値)※ ※1000A 測定 の場合は 500A レンジ に設定し「bit 重み」を 2 倍 (0.2A) で扱ってください。

■演算仕様

各電流I	: 1 秒ごとに 5 サイクル分の平均値を算出
電流実効値I	: $I = (I_{m-4} + I_{m-3} + I_{m-2} + I_{m-1} + I_m) \div 5$
1 サイクルの実効値 I_m	: 1 周期 (50Hz / 60) の 1/32 の瞬時値の2乗平均値の平方根

$$I_m = \sqrt{\left\{ (I_{n-31})^2 + (I_{n-30})^2 + (I_n)^2 \right\} \div 32}$$

■測定精度

周波数: 50±0.3Hz、60±0.3Hz、周囲温度: 23±5°C、クランプ CT の誤差含まず
F.S.±1.0%

■マスク機能

電流の入力が一定値以下になれば、出力値を 0 に固定します。
電流レンジの 0.5%未満 (60A レンジ 0.3A 未満) のとき、0A となります。
そのとき、入力表示 LED は消灯します。

■入力オーバー

電流の入力が一定値を超えると、出力値をオーバーフロー値(8191)に固定します。

電流レンジの 110%を超えた場合(60A レンジの時入力が 66.0A を超えた場合)、オーバーフローとなります。

そのとき、入力表示 LED は点滅します。

6 LED 表示機能

本機にはモニタ機能があります。

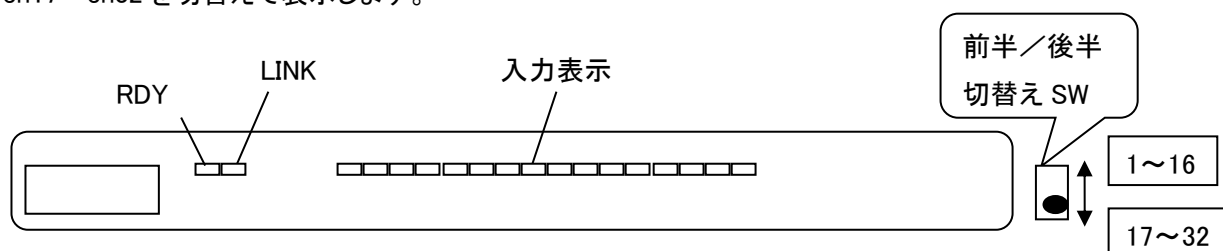
「RDY」「LINK」LED は、ユニット状態の表示を行います。

	表示内容	表示状態	要因
RDY(緑)	電源供給	点灯	正常
		消灯	電源断
LINK(緑)	伝送信号受信	点滅	正常
		点灯	伝送ライン異常
		消灯	

「入力表示」LED は、電流入力状態の表示を行います。

表示状態	入力状態
点灯	入力値正常
消灯	入力値マスク値未満(60A レンジの時入力が 0.3A 未満)
点滅	入力値オーバーフロー(60A レンジの時入力が 66.0A を超えた場合)

「入力表示」LED は 16 個あり、「前半／後半スイッチ」により前半 ch1～ch16 と、後半 ch17～ch32 を切替えて表示します。



正常表示状態にならない場合は、上記表の要因を参考に障害を取り除いてください。

7 AnyWire 値への変換

測定・演算された測定データは AnyWire Bus で送信するため、AnyWire 値に変換されます。

$$\text{AnyWire 値} = \text{測定値} / \text{bit 重み}$$

■電流要素

測定レンジ	bit 重み	最大測定値	AnyWire 値	
			最小値	最大値
60A	0.1A	60.0A	0	600
120A	0.1A	120.0A	0	1200
200A	0.1A	200.0A	0	2000
300A	0.1A	300.0A	0	3000
500A	0.1A	500.0A	0	5000

※1000A 測定時は「bit 重み」を 0.2A としてください。

測定レンジ	bit 重み	最大測定値	AnyWire 値	
			最小値	最大値
1000A	0.2A	1000.0A	0	5000

8 伝送仕様

8.1 リモートユニット(本機)→マスタ

用途 : 本機に設定された「測定データ」または「設定値データ」を取得する場合に使用します。

Word-Bus 入力データを使用します。

プロトコル : AnyWire プロトコル

データフォーマット : 測定モード [要素番号(3bit)+データ(13bit)]

1 ワード	
15～13bit	12～0bit
要素番号	データ

設定モード [要素番号(3bit)+予約(2bit)+論理番号(2bit)+データ(9bit)]

1 ワード			
15～13bit	12,11bit	10,9bit	8～0bit
要素番号	予約	論理番号	データ

データ更新間隔 : 約 1～2.3 秒

データ占有 : 上記構成でチャンネル数設定が 32ch の場合は 4 ワード占有、16ch の場合は 2 ワード占有します。

8.1.1 アドレス割付 (測定モード時)

■構成(チャンネル設定数が 32ch の場合)

要素番号	占有データ(4 ワード)			
	ワード 1	ワード 2	ワード 3	ワード 4
0	I1 の電流値	I9 の電流値	I17 の電流値	I25 の電流値
1	I2 の電流値	I10 の電流値	I18 の電流値	I26 の電流値
2	I3 の電流値	I11 の電流値	I19 の電流値	I27 の電流値
3	I4 の電流値	I12 の電流値	I20 の電流値	I28 の電流値
4	I5 の電流値	I13 の電流値	I21 の電流値	I29 の電流値
5	I6 の電流値	I14 の電流値	I22 の電流値	I30 の電流値
6	I7 の電流値	I15 の電流値	I23 の電流値	I31 の電流値
7	I8 の電流値	I16 の電流値	I24 の電流値	I32 の電流値

※チャンネル数設定が 16ch の場合、ワード 3 とワード 4 は使用しません。(2 ワード占有)

8.1.2 アドレス割付（設定モード時）

■構成（チャンネル設定数が 32ch の場合）

要素番号 (15～13)	予約 (12-11)	論理番号 (10-9)	占有ワード(4 ワード)			
			ワード 1 (8-0)	ワード 2 (8-0)	ワード 3 (8-0)	ワード 4 (8-0)
0	0	0	1 固定 (設定モードを表す)	1 固定 (設定モードを表す)	1 固定 (設定モードを表す)	1 固定 (設定モードを表す)
1	0	0	商用周波数設定 1:50Hz 2:60Hz	0 固定 未使用	商用周波数設定 1:50Hz 2:60Hz	0 固定 未使用
2	0	0	0 固定 未使用	0 固定 未使用	0 固定 未使用	0 固定 未使用
3	0	0	製品タイプ=12	0 固定 未使用	製品タイプ=12	0 固定 未使用
4～7	0	0	0 固定 未使用			
0	0	1	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用
1	0	1	1ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	17ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
2	0	1	2ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	18ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
3	0	1	3ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	19ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
4	0	1	4ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	20ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
5	0	1	5ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	21ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
6	0	1	6ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	22ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
7	0	1	7ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	23ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
0	0	2	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用
1	0	2	8ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	24ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
2	0	2	9ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	25ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
3	0	2	10ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	26ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
4	0	2	11ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	27ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
5	0	2	12ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	28ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
6	0	2	13ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	29ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
7	0	2	14ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	30ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
0	0	3	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用
1	0	3	15ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	31ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
2	0	3	16ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	32ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
3～7	0	3	0 固定 未使用			

- ・電流レンジの出荷時設定は、設定値 8:60A に設定されています。
- ・変更するときは、次章に従って設定してください。

設定値 3:120A 設定値 4:200A 設定値 5:300A 設定値 6:500A

※チャンネル数設定が 16ch の場合、ワード 3 とワード 4 は使用しません。(2 ワード占有)

※1000A 測定の場合は、500A 設定にして bit 重みを 2 倍(0.2A)で扱ってください。

8.2 マスタ → リモートユニット(本機)

用途 : 本機の測定周波数や電流測定レンジなどの「設定」を変更するときに使用します。

Word-Bus 出力データを使用します。

プロトコル : AnyWire プロトコル

データフォーマット : [要素番号(3bit)+予約(2bit)+論理番号(2bit)+データ(9bit)]

1 ワード			
15～13bit	12,11bit	10,9bit	8～0bit
要素番号	予約	論理番号	データ

データ占有 : 上記構成でチャンネル数設定が 32ch の場合は 4 ワード占有、16ch の場合は 2 ワード占有します。

8.2.1 アドレス割付 (設定モード時)

■構成(チャンネル設定数が 32ch の場合)

要素番号 (15～13)	予約 (12～11)	論理番号 (10～9)	占有ワード(4 ワード)			
			ワード 1 (8～0)	ワード 2 (8～0)	ワード 3 (8～0)	ワード 4 (8～0)
0	0	0	1 固定 (設定モードを表す)	1 固定 (設定モードを表す)	1 固定 (設定モードを表す)	1 固定 (設定モードを表す)
1	0	0	商用周波数設定 1:50Hz 2:60Hz	0 固定 未使用	商用周波数設定 1:50Hz 2:60Hz	0 固定 未使用
2	0	0	0 固定 未使用	0 固定 未使用	0 固定 未使用	0 固定 未使用
3	0	0	製品タイプ=12	0 固定 未使用	製品タイプ=12	0 固定 未使用
4～7	0	0	0 固定 未使用			
0	0	1	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用
1	0	1	1ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	17ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
2	0	1	2ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	18ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
3	0	1	3ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	19ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
4	0	1	4ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	20ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
5	0	1	5ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	21ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
6	0	1	6ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	22ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
7	0	1	7ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	23ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
0	0	2	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用
1	0	2	8ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	24ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
2	0	2	9ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	25ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
3	0	2	10ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	26ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用

4	0	2	11ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	27ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
5	0	2	12ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	28ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
6	0	2	13ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	29ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
7	0	2	14ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	30ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
0	0	3	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用	1 固定 (設定モードを表す)	0 固定 未使用
1	0	3	15ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	31ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
2	0	3	16ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用	32ch 目の電流レンジ	0 固定 未使用
3～7	0	3	0 固定 未使用			

電流レンジの出荷時設定は、設定値 8:60A に設定されています。

設定値 3:120A 設定値 4:200A 設定値 5:300A 設定値 6:500A 設定値 8:60A

※チャンネル数設定が 16ch の場合、ワード 3 とワード 4 は使用しません。(2 ワード占有)

9 設定値の読み書き手順

9.1 設定値の読み出し方法

- ①出力ワードの“1”または“3”に「要素 0→データ 01H」を出力し、このユニットを**設定モード**に切替えます。
- ②入力ワードの“1”または“3”が「要素 0→データ 01H」となっていることを確認してください。
- ③入力ワードの“1”または“3”から現在の設定値を読み出してください。
- ④出力ワードの“1”または“3”に「要素 0→データ 00H」を出力し、**測定モード**に戻ってください。

9.2 設定値の書き込み（変更）方法

- ①出力ワードの“1”または“3”に「要素 0→データ 01H」を出力し、**設定モード**に切替えます。
- ②入力ワードの“1”または“3”が「要素 0→データ 01H」となっていることを確認してください。
- ③出力ワードの“1”または“3”に変更したい「要素番号」「論理ワード」「設定値」を出力してください。
 - ・この操作で、ターミナル内部メモリに設定値を記憶します。
- ④入力ワードの“1”または“3”から変更された設定値を読み出してください。
 - ・1 秒程度待ってから読み出してください。
 - ・設定値に間違いや、変更を続ける場合は、引続き変更したい「要素番号」「論理ワード」「設定値」を出力してください。
- ⑤出力ワードの“1”または“3”に「要素 0→データ 00H」を出力し、**測定モード**に戻ってください。

10 保証について

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合
- (3) 納入者以外の改造、または修理による場合
- (4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。

また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更

本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

11 中国版 RoHS 指令

产品中有害物质的名称及含有信息表

部件名称	有害物质									
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)	邻苯二甲酸 二正丁酯 (DBP)	邻苯二甲酸 二异丁酯 (DIBP)	邻苯二甲酸 丁基苄酯 (BBP)	邻苯二甲酸二 (2- 乙基) 己酯 (DEHP)
安装基板	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
框架	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
注 1：○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均不超出电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求。 ×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中含量超出电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求。 注 2：以上未列出的部件，表明其有害物质含量均不超出电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求。										



12 変更履歴

バージョン	日 付	変更内容
暫定版	2007.07.04	
暫定版	2007.09.18	コネクタの型式と適応電線追加
1.0版	2007.10.10	リリース
1.1版	2007.12.20	電流レンジ変更機能追加
1.2版	2008.01.23	チャンネル数切替スイッチ追加 500Aレンジ追加、シリアルNo.変更
1.3版	2011.05.10	2-1、5-1、7-1、8-5 に1000A測定場合を追記、連絡先変更
1.4版	2013.10.09	CTケーブルの長さについて注記を追記、連絡先変更
1.5版	2015.03.26	入力オーバーフローの表記(以上→超える)修正
1.6版	2021.05.12	外形寸法図追加、保証について更新、中国版RoHS指令内容追加、 新連絡先、その他表現の統一
1.7版	2022.03.25	2.1 製品概要、その他表現の統一
1.8版	2022.06.02	2.3 性能仕様、3. AnyWire Bus 設定(アドレス・通信速度)、8. 伝送仕様
1.9版	2025.07.15	11. 中国版RoHS指令 その他表現の統一

Anywire 株式会社エニワイヤ

本 社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所 1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所
<http://www.anywire.jp/>

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

075-952-8077

■ メールでのお問い合わせ info@anywire.jp